

平成28年度 第2回

京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 近畿職業能力開発大学校京都校部会 開催概要

1. 開催日時

平成29年2月6日（月） 13:30~15:00

2. 開催場所

京都職業能力開発短期大学校2号館2階会議室 舞鶴市上安1922番地

3. 主な議題

- (1) 平成28年度の業務実施状況について
- (2) 平成29年度の業務計画及び業務進捗状況について

4. 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われました。各委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 平成29年度入校生募集に向けたポリテクカレッジの積極的な取り組みや、舞鶴市等の「オール舞鶴」による支援の成果が出ているのではないかと。次年度の取組みに向けては、オープンキャンパス参加者の利用者アンケートをしっかりと分析することが重要である。その上、ニーズに対応した効果的な広報活動に力を入れてもらいたい。
- 舞鶴市、京都府以外の応募が少し減っているという印象を受ける。今後もこの応募率が維持できるという見方は楽観的である。市外、府外の募集にも力を入れ、応募率が上がればより定員充足にも近づくのではないかと。
- 舞鶴市出身者の応募が大きく増えているが、高校別では舞鶴市内の高校の他にも、市外の高校からも応募がある。舞鶴市在住の学生が、市外の高校を卒業後、ポリテクカレッジに進学しているケースもあると思われるが、今年度は、教育委員会の協力を得ながら各高校への周知を行っており、舞鶴市以外の高校にどれほど周知が浸透しているのか、出身地、出身高校、就職先のそれぞれの所在地の関係等、その辺りの分析もしていただきたい。また、在職者訓練のオーダーメイド型コースについては、積極的に取り組み、実績につなげてほしい。
- 京都北部の5市2町には、中学生が就職したいと希望する従業員規模100人以上の企業が100社以上ある。今回、舞鶴市出身者の応募が増えたが、これからも「伸び代」がある見える。今後も優秀な人材を京都北部に輩出してほしい。
- 学園祭での高校生バンドの演奏は、PRとして非常に効果的である。また、ポリテクビジョンにも高校生が参加するそうだが、実際に大学校のキャンパス内で、高校生が短大生と一緒に活動することは魅力的だと感じた。
- 学校で身に付けた力を発揮するには、人間としての力も重要である。最近特に低下しているコミュニケーション能力は、持っている技能を十分に発揮するためにも必要な能力である。学校の中でもコミュニケーション能力の向上に力を入れていただきたい。



近畿職業能力開発大学校京都校部会委員名簿

(敬称略)

氏 名	所 属 及 び 役 職 名
三 原 敏 雄	京都府立福知山高等技術専門校 校長
後 藤 義 邦	日本労働組合総連合会京都府連合会北部地域協議会 議長
瀬 川 甫	舞鶴商工会議所 専務理事
黒 石 悟	京都府中小企業団体中央会 北部事務所 所長
寺 田 昭 夫	丹後機械工業協同組合 常務理事
足 立 由紀夫	一般社団法人綾部工業研修所 代表理事
田 中 政 旭	舞鶴工業集積協議会 会長
浅 山 尚 紀	京都府商工労働観光部人づくり推進課 課長
山 田 剛	舞鶴公共職業安定所 所長
砂 原 由 明 《座 長》	舞鶴市産業振興部 部長